

## 小倉都心地区夜間景観ガイドラインの役割

- ・これから照明計画を実践する場合の「着目すべき視点」
- ・民間事業者の方が「ライトアップを行う際のヒントや実践的で具体的な手法例」
- ・より魅力的なライトアップを検討するための「支援体制の紹介」

わかりやすく  
解説します！

## 点、線、面からなる夜間景観の考え方

照明は、計画的に使うことで見せたいものをより魅力的で印象的に見せ、まちの個性や風土、歴史、文化を感じるまちづくりへとつなげることができます。照明で、建築物やモニュメントを美しく照らすことで「点」のあかりをつくり、照らされた「点」が連続し、また足元の適度な明るさを確保したり目標物を照らしたりすることで人を誘導する「線」をつくり、そして、個々の点や線は折り重なり、「面」としてまち全体の魅力的な夜間景観を形成します。この点、線、面の視点から小倉都心地区の魅力的な景観資源を見つけ、夜間景観づくりを行います。

### 点 夜間景観の重要な資源となるあかり

店舗やオフィスビル、サイン、モニュメント、橋梁、交差点、駅、歴史的建造物などを効果的に照らすことで、個々の魅力を増幅させることができ、魅力的な夜間景観の資源になります。



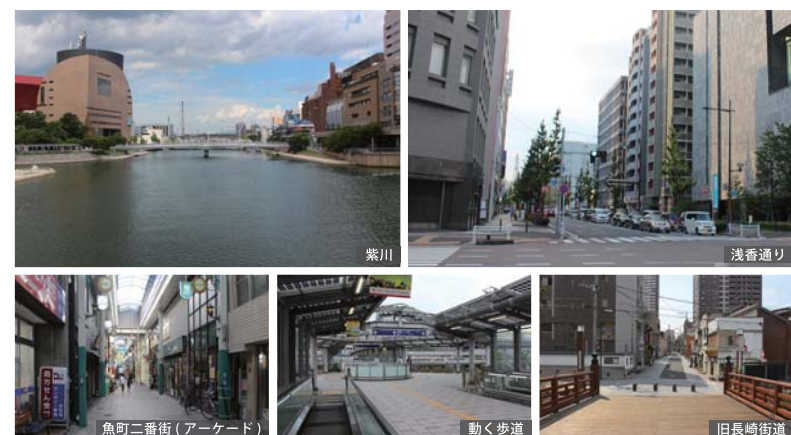
#### 考え方の POINT

小倉都心地区の景観を形成している  
様々な民間施設、公共施設が  
「点」の夜間景観資源です。

### 線 通りの一体感を生み回遊性を向上させるあかり

魅力的に照らされた店舗やオフィスビル等の連なった「点」のあかりは「線」を形成します。統一感のある「点」のあかりが形成する「線」は、通りの雰囲気演出することができます。

また、主要な道路、河川などの連続的な照明のあかりが形成する「線」は、まちの輪郭を明確にします。「線」を照らすことで、通りの一体感が生まれ回遊性も向上します。



### 面 点、線の融合によるまちのあかり

地域が持つ魅力を、点、線により表現し、それらを融合させることで面としての夜間景観を向上します。

#### 考え方の POINT

エリア毎に地域の特徴を活かした夜間景観の  
テーマを設け、地域の魅力に包まれた居心地  
の良い夜間景観演出を支援します。

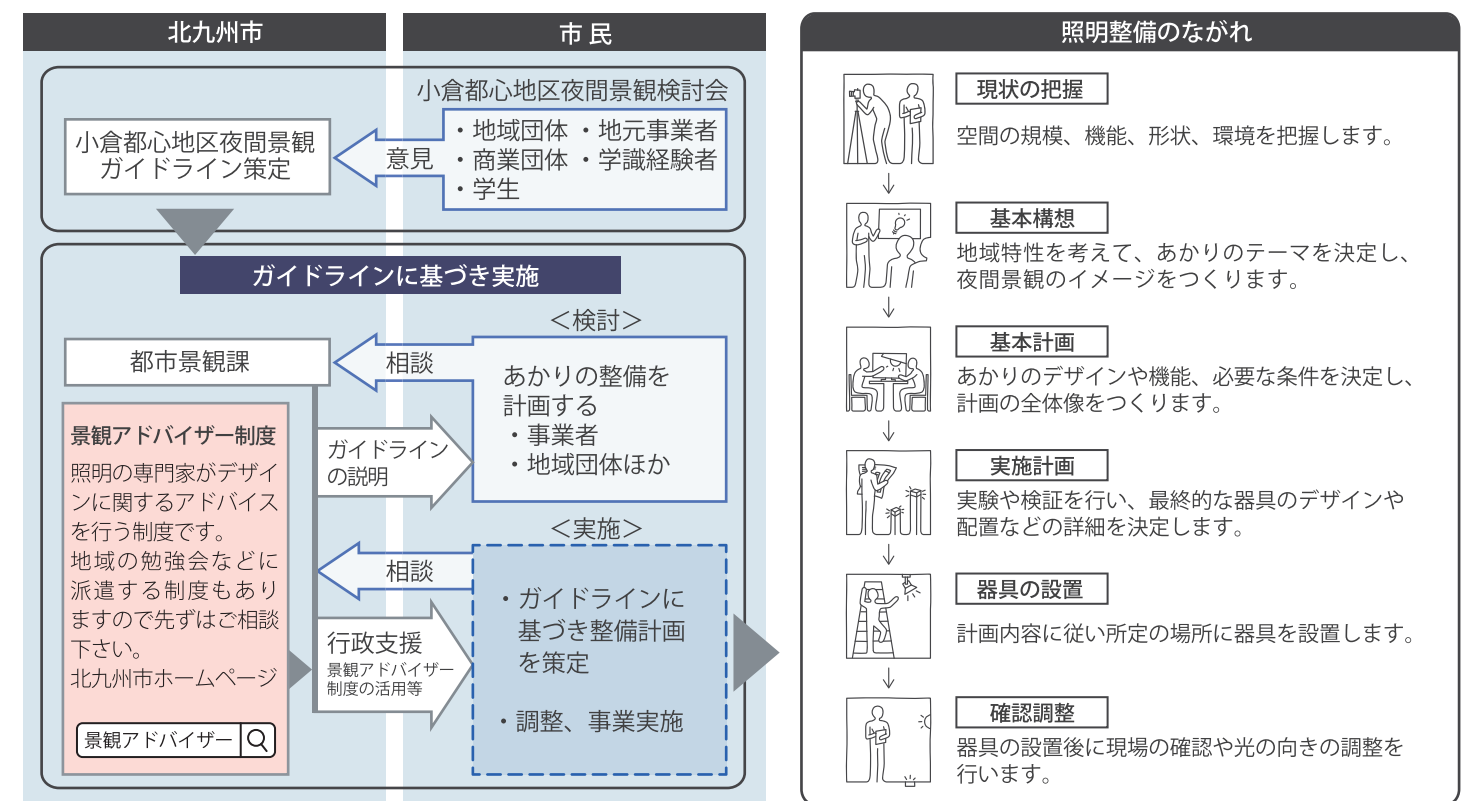


## 夜間景観づくりに参加しよう！

小倉都心地区の夜間景観のあり方について「小倉都心地区夜間景観検討会」を開催し、地域団体や地元事業者、商業団体、学生、学識経験者など様々な立場の方からご意見、ご提案をいただきました。

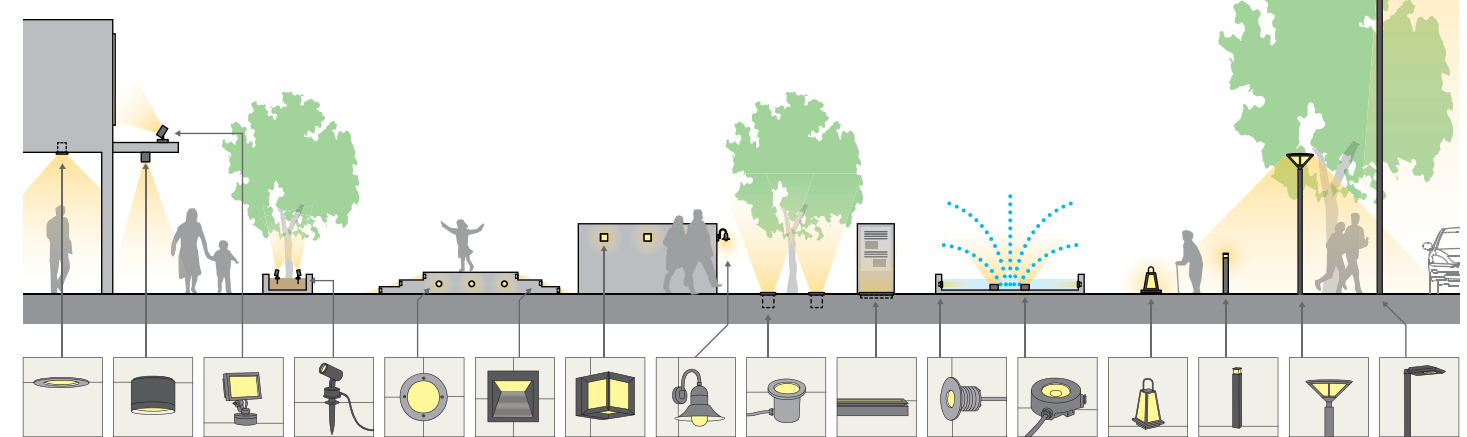
「小倉都心地区夜間景観ガイドライン」が完成し、いよいよ夜間景観づくりのスタートです。

夜間景観を形成するのは、街並みをつくるすべての施設です。一つ一つの施設「点」が持つ魅力をあかりで彩りましょう。個別でももちろん、より整備効果を実感するために地域で夜間景観づくりを計画的に行うことも一つの方法です。ここでは、実際に照明計画を行い、整備するまでの具体的な流れを紹介いたします。



## 照明器具を紹介します

夜間景観をつくる照明器具は道路で用いられるポール灯や、歩道や公園で用いられる足元のあかりをとるためのフットライト、さらには地中埋設型器具や水中照明などバリエーションに富んでいます。照明器具を選ぶ際には、器具単体のデザインのみにとらわれず、周辺の環境を考慮して形状や色、素材などを決定しましょう！



**ダウンライト** 建物の軒先やひさしなどに設置して使います。様々な天井埋込みタイプと天井部直付けタイプがあります。  
**フラッドライト** 床面や壁面に設置して使います。様々な高さの器具があります。  
**フットライト** 階段の段上げ部分や壁面などに設置して使います。高さの調節が可能な器具があります。  
**ブラケット** 街路に面した建物の壁面に設置して使います。街路と建物との一体感を持たせた景観演出に効果的です。  
**地中埋設型器具** 器具本体を地中に埋込み発光面が床面に露出する器具です。植栽や彫刻、建物の壁面などを照らします。  
**水中照明** 噴水や滝などを照らすのに適しています。  
**庭園灯** ボードライト、ガーデンライトとも呼ばれます。街路や公園、庭園などに設置して使います。照明用の10m程度の器具があります。  
**ポール灯** 一般には街路灯として使われます。高さ3m程度のものから道路照明用の10m程度のものまであります。

発行 平成 29年 10月 No.1715010C  
問合せ 北九州市建築都市局総務部都市景観課 〒803-8501 福岡県北九州市小倉北区城内1番1号 Tel.093-582-2595 Fax.093-582-2503



あかりで紡ぐ  
極上の居心地

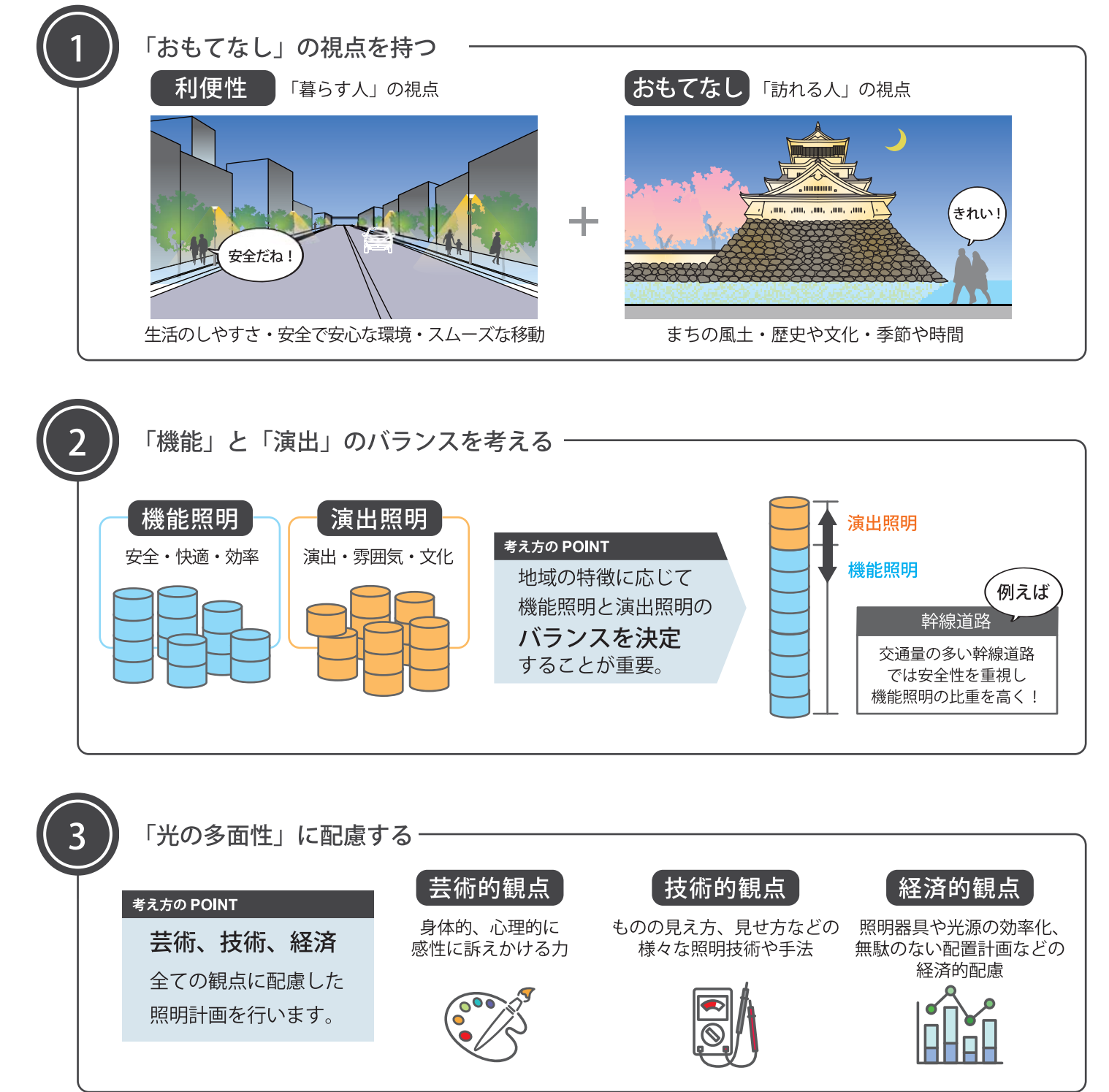
## 小倉都心地区夜間景観ガイドライン(概要版)

## あかりで紡ぐ 極上の居心地

小倉都心地区は、気軽に散歩できる範囲の中に、都市的な施設と緑豊かな自然、産業を支える工場群と生活を支える市場、歴史を感じさせる街並みと現代の暮らしを支える街並みが共存し、いくつもの街を旅したような、様々な特徴に触れることができる。  
“あかり”はその街の特徴を鮮やかな色彩、賑わいや落ち着き、風情や面白みなどで彩り、視対象の魅力を増幅させる。その“あかり”が紡ぐ夜間景観は、訪れる人を温かく迎え、街なかへと誘い、その光景で魅了する。  
何度もそこを訪れたいくなる。目指すのは、極上の居心地。

## 夜間景観をつくる3つの視点

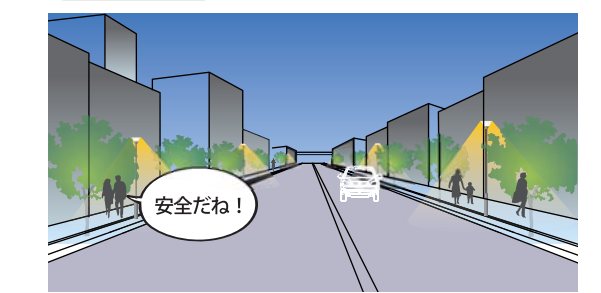
これからの小倉都心地区の夜間景観づくりでは、暮らす人々が快適に生活するためのあかりとともに、多くの来訪者が夜の街の散歩や食を楽しみ、夜景に魅了されるような、街並みの魅力を感じることができる夜間景観であることが大切です。小倉都心地区夜間景観ガイドラインではこれからの夜間景観づくりに必要な3つの視点を提示します。



1

### 「おもてなし」の視点を持つ

**利便性** 「暮らす人」の視点



生活のしやすさ・安全で安心な環境・スムーズな移動

**おもてなし** 「訪れる人」の視点

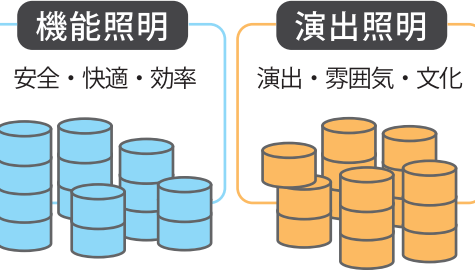


まちの風土・歴史や文化・季節や時間

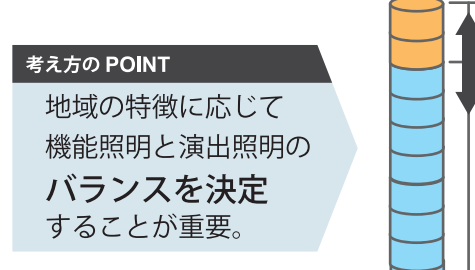
2

### 「機能」と「演出」のバランスを考える

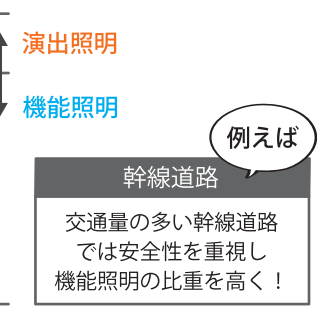
**機能照明** 安全・快適・効率



**演出照明** 演出・雰囲気・文化



**考え方の POINT**  
地域の特徴に応じて機能照明と演出照明のバランスを決定することが重要。



3

### 「光の多面性」に配慮する

**考え方の POINT**

**芸術的視点** 身体的、心理的に感性に訴えかける力

**技術的視点** ものの見え方、見せ方などの様々な照明技術や手法

**経済的視点** 照明器具や光源の効率化、無駄のない配置計画などの経済的配慮

**芸術、技術、経済**  
全ての視点に配慮した照明計画を行います。

